

12月
定例会

11/30～12/19

公の施設の指定管理者の指定 台風21号による災害対策



審議議案

平成29年12月定例会は11月30日から12月19日までの20日間の会期で開かれ、市長から提出された「平成29年度鴻巣市一般会計補正予算（第5号）」など23件の議案について慎重審議し、すべての議案を原案のとおり同意・承認・可決しました。

また、議員提出議案として1議案が上程され、否決となり、請願2件は、いずれも不採択となりました。

指定管理者の指定

問 コミュニティふれあいセンター及び本町コミュニティセンターの指定管理者の実績は。

答 指定管理者として、3年間、本施設を管理運営してきた街活性室株式会社は、接客や運営内容等に対し高評価を得ていて、ベビーマザーズ講座や美と健康講座など多くの自主事業を実施してきました。

問 市民活動センターの管理を直営から指定管理者である街活性室株式会社・株式会社サンワックス共同事業体にする効果は。

答 直営に比べ指定管理者の管理の方が、5年間で約3300万円の節減になります。また、大学と連携して地域課題を含む市民活動に臨んでいく、産・学・官連携体制の発想等、民間企業の知恵を活用することで、さらに充実した市民活動の支援ができると考えています。

問 映画館を公設で事業実施することのメリットとデメリットは。また、映画館運営の指定管理者を非公募にした理由は。

答 鴻巣市映画館は、映画を通じた市民文化の向上と中心市街地の活性化を図ることを目的としています。

メリットとしては、管理運営を指定管理料のほかに、多目的ホールの利用料金と映画館の入場料で賄われていること、商業ベースと比較して運営の安定性があること、自治体が主体性をもって文化の振興に取り組めることです。デメリットとしては、映画の事業は作品等により集客数が変動することから、指定管理料の算定が難しいことです。

公募方法については、現行の指定管理者である株式会社ティ・ジョイは、映画館の運営のノウハウの提供及び確かな実績を挙げたこと、また、設備等の再投資と業者の交代は、費用対効果の面でも大きなリスクとなることから非公募にしました。

補正予算 台風21号による災害対策

● 防災用備品

問 購入する内容は。

答 反射材・ウエート付きのカラーコーン30本、通行止め看板22枚、単管バリケード20セット、点滅灯を購入します。

● 吹上地域体育施設

問 仮設トイレ・管理棟など、なぜ撤去しなかったのか。

答 ダムの放流がないと予測し、水

は上がらないと予想しました。雨の量が予想以上に多かったため、増水し水が上がってしまいました。管理棟のガラスが1枚割れ、その他の附帯設備には、ほとんど損傷はありませんでした。

問 当初予算に組み込まないのか。

答 水が上がった際の予算というのは組んでいません。撤去費用は1回分組んでいますが、1回撤去すると120万円程度かかります。今回はその分と合わせて対処しました。

● 道路維持補修

問 道路に稲わら等を含め、廃棄物の散乱も多く見受けられたが、稲わら等の撤去は何件あったのか。

答 道路上の稲わら等の撤去で市が対応した箇所は35カ所あり、そのうち市職員が対応した箇所が22カ所、業者委託した箇所が13カ所になります。荒川河川敷内の稲わら等の撤去は2カ所あり、業者委託で対応しました。

問 散乱した廃棄物については、どう対応したのか。

答 主要道路やある程度交通量が多い道路については、道路パトロールを実施し、早急に廃棄物を撤去しました。それ以外の箇所については、連絡がなく対応ができていない箇所

もありました。なお、処分及びその費用については、収集した稲わら等は、埼玉中部環境センターと小針ワリンセンターへ搬入し、収集運搬費用は発生しましたが、処分費用は発生していません。

条例の一部改正 鴻巣市体育施設の一部を改正する条例

問 第2体育館が、平成30年3月31日に閉鎖する理由は。

答 雨漏りの状態が大変ひどく、大雨の時に床が水浸しになってしまいました。最近では普通の雨でも雨漏りするようになり、また、床の状態が大変悪くなってきたので、閉鎖をする結論に至りました。

問 利用者への説明と、その反応は。

答 雨が降って雨漏りがした場合は利用できない条件で貸出しており、5月20日に説明会を開き、利用者には理解を得たと認識しています。

問 利用者が次に利用する施設はどのように予定しているのか。

答 市としては総合体育館、各公民館の体育室、馬室・松原小学校の体育施設等を提示しました。

補正予算 道路災害賠償金

問 市道の陥没等の影響により、走行している車のタイヤのパンクや事故による破損等が発生することがあるが、そのような場合の道路の復旧はどのようにしているか。

答 緊急で補修を実施する場合、土のうの設置や砕石で補修し、仮復旧工事をした上で本復旧工事を施工する場合があります。また、レミファルト(低温でも補修材が凝固しやすい修復素材)で施工したり、最初から全面的に舗装工事を施工する場合もあります。

補正予算 花壇整備業務委託

問 委託内容は。

答 鴻巣駅西口、北鴻巣駅東口、吹上駅南口・北口、ポケットパーク等の草花の植付け、除草、植木の剪定等の業務委託です。鴻巣駅東口、市役所前の花壇や吹上支所周辺と吹上保健センターのプランターは、ボランティアに依頼し、さいたま地方法務局鴻巣出張所交差点のポケットパークも鴻巣市建設業協会の一部のボランティアに植付けしてもらっています。今回の補正予算は、2月もしくは3月に入札及び契約を行います。

4月から業務を開始したため補正計上するものです。



北鴻巣駅東口



ポケットパーク

補正予算 住民基本台帳事務事業

問 既に手元に個人番号カードを持っている人が、今回新たな旧姓併記をするには裏書あるいは再交付が必要とのことだが、再交付の場合、手数料はかかるのか。

答 旧姓併記をするには、システムにより再交付を行います。手数料の有無についての国の方針は決まっています。

補正予算 農地活用促進事業費補助金

問 補助金の対象内容は。

答 この補助金は3つの協力金から

成り立っています。地域集積協力金は糠田・明用・前砂・北根・笠原(郷地・安養寺も含む)の5地域が対象となっています。経営転換協力金は77件、耕作者集積協力金は204人が対象です。新規集積面積は5195アールに対し、10アール当たり5000円の国庫補助金が市に配分され、協力金の財源となります。

問 農地中間管理機構への貸付契約期間と補助割合は。

答 10年以上の貸し付けでこの補助金の対象になってきます。国からの100%の補助で、市の持ち出しはありません。

問 機構に農地を貸したい人が、借り手を見つけれず困っている場合、どのような方法で進めていくのか。

答 借り手がなかなか見つからない場合は、市役所に相談に来てもらい、担い手農家を紹介したり、機構のほかにも農業委員会を通しての貸し付け等の相談に応じていきます。国は平成35年までに担い手の農地利用が全農地の8割を占めることを目標としています。平成29年12月1日現在の農地中間管理事業の集積率は、農業振興地域内農地面積の15.2%となっています。